

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表平10-505600

(43) 公表日 平成10年(1998) 6月2日

(51) Int.Cl. ⁹	識別記号	F I	
C 0 7 D 215/44		C 0 7 D 215/44	
A 6 1 K 31/47	A B X	A 6 1 K 31/47	A B X
	A D U		A D U
31/505	A E D	31/505	A E D
C 0 7 D 239/74		C 0 7 D 239/74	

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 233 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願平8-509740	(71) 出願人	ザ、ウェルカム、ファンデーション、リミテッド
(86) (22) 出願日	平成7年(1995) 9月18日		イギリス国ミドルセックス、グリーンフォード、パークレイ、アベニュー (番地なし)
(85) 翻訳文提出日	平成9年(1997) 3月19日		グラクソ、ウェルカム、ハウス内
(86) 国際出願番号	P C T / G B 9 5 / 0 2 2 0 2	(72) 発明者	ハドソン, アラン トーマス
(87) 国際公開番号	W O 9 6 / 0 9 2 9 4		イギリス国ケント、ベクナム、ラングレー、コート (番地なし)
(87) 国際公開日	平成8年(1996) 3月28日	(72) 発明者	ビール, サディー
(31) 優先権主張番号	9 4 1 8 8 5 2 . 1		イギリス国ケント、ベクナム、ラングレー、コート (番地なし)
(32) 優先日	1994年9月19日	(74) 代理人	弁理士 佐藤 一雄 (外2名)
(33) 優先権主張国	イギリス (G B)		
(31) 優先権主張番号	9 5 0 7 7 8 8 . 9		
(32) 優先日	1995年4月13日		
(33) 優先権主張国	イギリス (G B)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 置換複素環式化合物および薬剤におけるそれらの使用

(57) 【要約】

本発明は、タンパク質チロシンキナーゼインヒビター、特に置換キノリンおよびキナゾリンである置換複素芳香族化合物に関する。それらの製造方法、このような化合物を含む医薬組成物および、医療における、例えば、乾癬、線維形成、アテローム性動脈硬化症、再狭窄、自己免疫疾患、アレルギー、ぜん息、移植拒絶反応、炎症、血栓症、神経系疾患、および癌の治療におけるそれらの使用も開示される。